

誰もが活躍推進フェスタ 【秋田県秋田市】

総事業費	1,564 千円
交付金額	706 千円

地域の実情と課題

- ・秋田市人口ビジョンでは、2040年における本市の人口は、2010年と比較して約27%減少する見込みであり、多様な人材の活躍により地域社会を支えていく必要がある。
- ・平成29年就業構造基本調査では、市内企業における女性管理職の割合は12.5%と、有業者に占める女性割合の44.6%と比較して著しく低い。

事業の特徴

仕事と生活の両立や、一人一人が個性や能力を發揮できる環境づくりの気運の醸成のため、女性デジタル人材の取組や時間と場所にとらわれずに自分らしい働き方について考えるトーク、自分の関心や興味を起業につなげる手法について考えるワークショップ交流会、女性起業家等によるワークショップ・商品販売会、女性ロールモデル写真展で構成された「誰もが活躍推進フェスタ」を開催した。

事業の効果

- ・コロナ禍において活動の制限が続く中、女性起業家の開発商品などを広くPRするとともに女性ロールモデルの活躍を紹介することで参加者意識を高めることができた。
- ・参加者アンケートでは、誰もが活躍していくために必要なこととして、「出産・育児、介護等をサポートする福利厚生制度の充実」「ワーク・ライフ・バランスの推進」「短時間勤務などの柔軟な働き方」に次いで、「配偶者やパートナーの家事・育児等への積極的な参加」が多く上げられており、女性活躍推進における必要な取組を把握することができた。
- ・マルシェには、男女問わず多くの来場があり、市内で活躍する女性事業家などの開発した商品や女性活躍企業について広く情報発信することができた。

目的・目標

- ・事業目標の参加者数400人に対し、580人で達成率は145.0%であった。いずれの企画もほぼ満員となるなど好評であった。
- ・コロナ禍において、様々なイベントの自粛により活動が制限されている企業や女性起業家などの販路開拓や事業PRなど対面でのつながりを支援するとともに、参加者にとっても地域の女性ロールモデルを知る機会となった。

【目標】 事業参加者数 400人 ⇒ 【実績】 580人 (+180人)

連携団体

「秋田市男女共生推進会議」

【構成団体】 秋田大学、秋田県立大学、秋田商工会議所、秋田人権擁護委員協議会、一般社団法人秋田県助産師会、秋田労働局、秋田市小学校校長会、秋田県中央男女共同参画センター（指定管理団体-NPO法人いきいきFネット秋田）、あきたF・F推進員、市内事業所ほか

今後の課題

- ・働く女性の意識の向上のため、身近なロールモデルの存在や成功体験を共有するなど、あらゆる機会を活用し、情報提供を行う必要がある。
- ・女性の起業・就業等を支援するため、家庭内の性別役割分担やアンコンシャス・バイアスを解消のための意識啓発などを次年度事業に向けて検討していく。

誰もが活躍推進フェスタ

仕事と生活との両立および一人ひとりが個性や能力を発揮できる環境づくりを一層推進するため、セミナー&トークおよびマルシェ&ワークショップを開催

- 1 開催日 令和4年10月15日・16日
- 2 会場 秋田市文化創造館
- 3 対象者 働いている女性、市民
- 4 来場者数 580人
- 5 実施内容

【1日目】「セミナー&トーク」

- ・心と身体を大切にするヨガセミナー
- ・時間や場所にとらわれない自分らしい働き方を考えるトーク
- ・自分の関心を起業につなげる手法について考えるセミナー

【2日目】「マルシェ&ワークショップ」

- ・女性起業家などの開発商品の販売・PR、ワークショップ

【両日】女性ロールモデルのパネル展

